

統合分野

授業科目	在宅看護概論
開講時期	2学年
単位数	1
時間数	15
担当講師	専任教員
科目目標	在宅看護の概念を踏まえ、在宅看護の対象について理解できる
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 在宅看護の概念 <ol style="list-style-type: none"> 1) 日本の在宅看護の歴史と現状 2) 地域療養を支える看護 3) 在宅看護の倫理と基本理念 2. 在宅療養者の特徴 <ol style="list-style-type: none"> 1) 在宅ケアと在宅看護 2) 訪問看護の対象者 3) 在宅看護の対象者と在宅療養の成立要件 3. 在宅療養者への看護活動・危機管理 <ol style="list-style-type: none"> 1) 在宅療養者への看護活動 2) 在宅ケアと危機管理 4. 家族への支援 <ol style="list-style-type: none"> 1) 在宅看護と家族 2) 家族介護者の個別性に応じた支援 5. 在宅療養者の事例展開 <ol style="list-style-type: none"> 1) 介護保険制度 2) 事例を用いたGW
授業形式	講義、演習
テキスト	ナーシンググラフィカ「地域療養を支えるケア」メディカ出版
評価方法	記述試験、演習の参加態度(100点満点)

授業科目	在宅看護援助論 I ～地域ケアシステム～
開講時期	2学年
単位数	1
時間数	30(12)
担当講師	坪井一身
科目目標	在宅看護実践に必要な基本的知識と在宅ケアシステムの目的・機能を理解する
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域ケアシステムの目的と意義 <ol style="list-style-type: none"> 1) 地域包括ケアシステム 2) ケアマネジメントと看護 2. 在宅ケアと看護職の調整機能 <ol style="list-style-type: none"> 1) 関係職種との連携 2) 在宅ケアシステムの実際 3. 在宅療養者の権利を擁護する制度と社会資源
授業形式	講義
テキスト	ナーシンググラフィカ「地域療養を支えるケア」メディカ出版
評価方法	在宅看護援助論 I を総合して記述試験(100点満点)

統合分野

授業科目	在宅看護援助論 I ～在宅看護の基本～
開講時期	2学年
単位数	1
時間数	30(10)
担当講師	松岡くみ子
科目目標	在宅看護実践に必要な基本的知識と在宅ケアシステムの目的・機能を理解する
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 在宅生活を支える訪問看護 2. 訪問看護ステーション 3. 訪問看護の実際 <ol style="list-style-type: none"> 1) 訪問看護における看護過程の特徴 2) 訪問看護の実際 3) 家庭訪問・初回訪問 4. 訪問看護の記録
授業形式	講義
テキスト	ナーシンググラフィカ「地域療養を支えるケア」メディカ出版
評価方法	在宅看護援助論 I を総合して記述試験(100点満点)

授業科目	在宅看護援助論 I ～日常生活支援技術の理解～
開講時期	2学年
単位数	1
時間数	30(8)
担当講師	専任教員
科目目標	在宅看護実践に必要な基本的知識と在宅ケアシステムの目的・機能を理解する
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 在宅における日常生活支援 <ol style="list-style-type: none"> 1) 食の援助 2) 清潔・排泄の援助 3) 移動の援助 4) 在宅看護の実際 援助技術(演習・GW)
授業形式	講義
テキスト	ナーシンググラフィカ「地域療養を支えるケア」メディカ出版
評価方法	在宅看護援助論 I を総合して記述試験(100点満点)

統合分野

授業科目	在宅看護援助論Ⅱ
開講時期	3学年
単位数	1
時間数	15
担当講師	松岡くみ子
実務経験者	○
科目目標	在宅生活を支える制度を踏まえ、在宅で療養する対象の健康状態に応じた看護を理解
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 在宅生活を支える制度と社会資源 <ol style="list-style-type: none"> 1) 介護保険法における訪問看護の位置づけ 2) 障害者・難病を支える制度と社会資源 2. 在宅生活での援助技術 <ol style="list-style-type: none"> 1) 感染症の対応 2) 呼吸の管理 3) 服薬管理 3. 在宅療養者への状態別支援(1) <ol style="list-style-type: none"> 1) ターミナル期の援助 4. 在宅療養者への状態別支援(2) <ol style="list-style-type: none"> 1) 認知症高齢者の理解 2) 家族と在宅療養者について
授業形式	講義
テキスト	ナーシンググラフィカ「地域療養を支えるケア」メディカ出版
評価方法	記述試験(100点満点)

授業科目	在宅看護援助論Ⅲ
開講時期	3学年
単位数	1
時間数	15
担当講師	専任教員
科目目標	終末期の事例展開を通して在宅看護の特徴が理解できる
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護過程の展開の基本 2. 事例を用いたの演習 <ol style="list-style-type: none"> 1) 終末期にある療養者の事例 <ul style="list-style-type: none"> ・脳梗塞後遺症のある高齢者 ・末期癌の高齢者
授業形式	講義、演習
テキスト	ナーシンググラフィカ「地域療養を支えるケア」メディカ出版
評価方法	記述試験、演習の参加態度(100点満点)